まつもと　ごうきち
松本　剛吉　（1862～1929）

丹波（現兵庫県）出身
明治 37 年（1904 年）から 4 度に渡り、衆議院選挙に当選。昭和 2 年（1927 年）貴族院議員に勅選。

やまがた　ありとも
山縣　有朋　（1838～1922）

長州（現山口県）出身。
第 3 代・9 代内閣総理大臣などを歴任。
明治 40 年 70 歳から小田原に在住。

大正 12 年（1923 年）頃に建築されたもので明治・大正期に活躍した政治家（貴族院議員等を歴任）で明治の元勲・山縣有朋と親交の深かった松本剛吉ゆかりの建物です。

数寄屋風の主屋と別棟の茶室（雨香亭）・待合等の建物と、築山や水景を伴う庭園から成る、茶道の交流が盛んであった近代小田原の別邸文化を伝える貴重な遺構となっています。

【観覧時の注意事項】

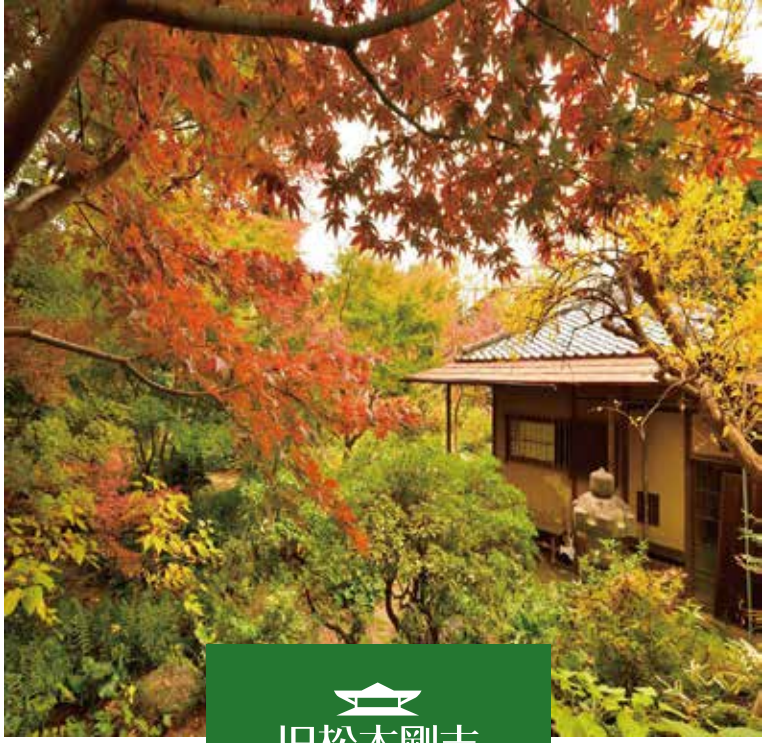
○施設管理・保全の都合上、見学できない部屋があります。
○商用利用するために写真・動画等の撮影をする場合は、別途、市への許可申請が必要となります。
○当施設には、駐車場がありません。公共交通機関をご利用ください。
○庭園を含め全館禁煙です。

住　　所：神奈川県小田原市南町二丁目 1 番 27 号
電　　話：0465-20-5693
ホームページ：https://matsumoto-goukichi.com/
メ ー ル：yoyaku-m@matsumoto-goukichi.com

観覧時間：10 時～ 16 時
（主屋内：11 時～ 15 時）
休 館 日：月曜日
（月曜日が休日の場合は翌平日）
※年末年始・その他臨時休館あり
観 覧 料：無料

より詳しく
知りたい場合は
コチラ⇒

小田原市



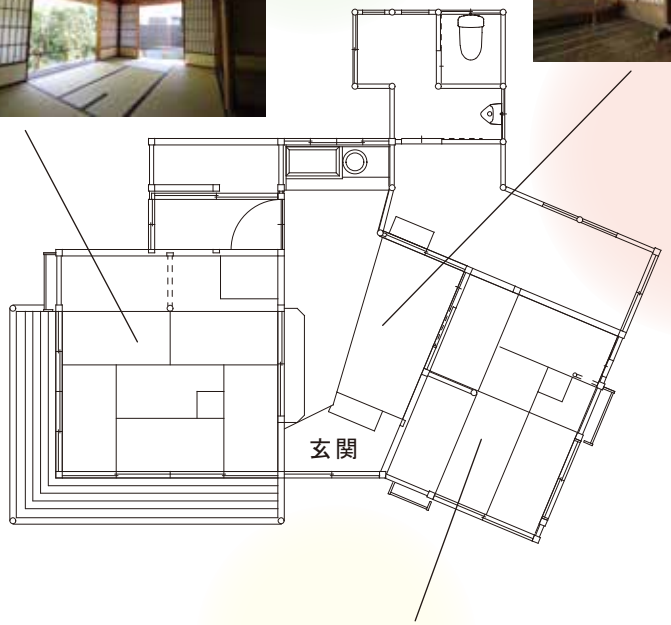
旧松本剛吉別邸
Former Villa of Gokichi Matsumoto

明治の元勲・山縣有朋と親交の深かった
政治家「松本剛吉」ゆかりの別邸
客座敷と日本庭園と茶室「雨香亭」

茶室「雨香亭」

茶室は庭園を展望するための工夫として、6 畳間の床を一段上げて視界を高くし、手摺り付の濡縁をめぐらせています。広間に隣接した 5 畳間の入口には、にじり口を設けず開放的な障子を据えているのが特徴です。

また、小間の軸が東に 15 度振れており、全体的に特異な空間構成となっています。
茶室の北側の一段高い築山の上に置かれた待合は、伝統的な和風建築で南側の入口の引戸をはじめ、四方とも腰板付のガラス張りで茶室と同様に庭園の展望を重視した工夫になっています。

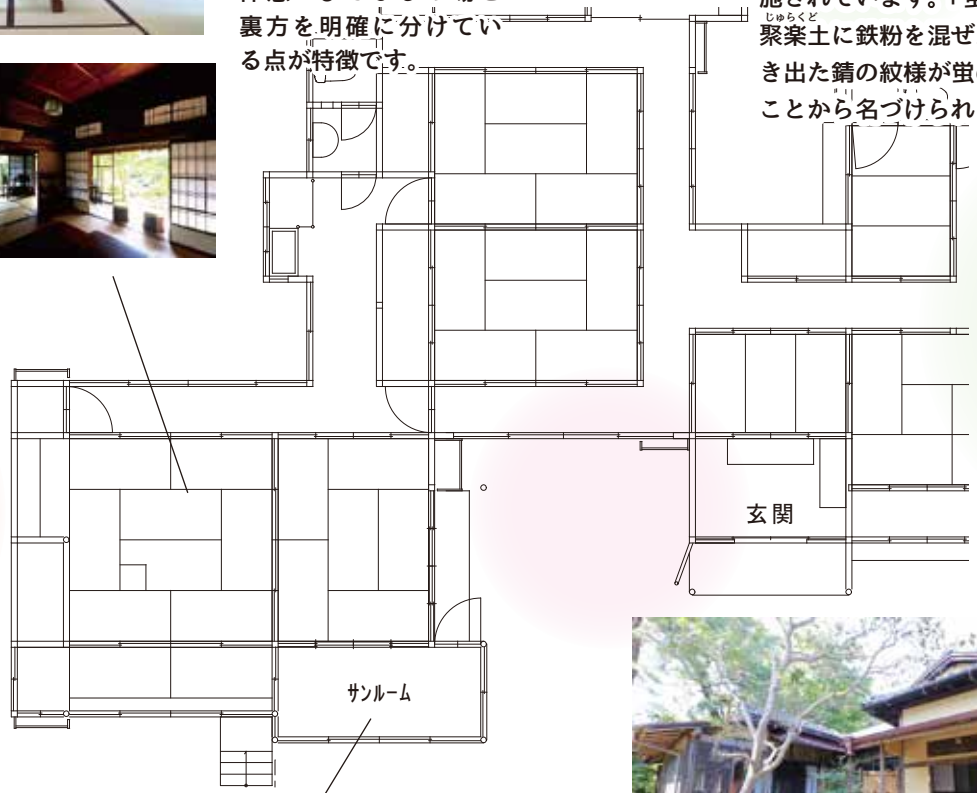


待合

南向きの玄関を中心とした西側に来客や主人用の格式の高い主座敷やガラス張りのサンルーム等、東側に台所や裏方の施設を置いて、休息・もてなしの場と裏方を明確に分けている点が特徴です。

建築年代：大正 12 年（1923 年）頃
建築面積：主屋 176.88 ㎡　／　茶室 50.57 ㎡
指定：歴史的風致形成建造物指定（令和 3 年（2021 年）6 月）

主屋の至る所に「蛍壁」と「なぐり」が施されています。「蛍壁」とは、黄褐色の聚楽土（じゅらくど）に鉄粉を混ぜた錆壁のことで、浮き出た錆の紋様が蛍（ほたる）の飛ぶ姿に似ていることから名づけられました。



「蛍壁」

「なぐり」

特徴的なサンルームがあり、当時の調度品と相まって優雅な別邸文化を味わう事が出来ます。

庭園には多くの樹種があり、季節ごとに異なった風景を楽しめます。